

質問

小中一貫の推進は

町長

統合小学校運営に全集中する



小田川 謙一 議員

質問

小学校の再編統合後は、小中一貫を推進するとの回答が9月定例会一般質問の答弁であった。先般、教育福祉常任委員会の視察研修で訪問した「岐阜県北方町」では、学校構想検討委員会において5年間の検討を重ねた上で現在の「義務教育学校」を開校されている。奥出雲町においても早期に検討委員会を設置してはどうか。

町長

小学校再編統合という大きな変革を迎え、学校経営を安定したものとして軌道に乗せるには2、3年は要すると思うので、すぐさま検討委員会を立ち上げるのは難しいと考える。まずは、統合した小学校の運営に全集中させていただき、学校現場の意見も踏まえて、小学校、中学校が両地域に1校ずつとなったという利点を最大限に活かしていきたい。



統合準備が進む改装中の横田小学校

質問

奥出雲町立地適正化計画の誘導施策として新たな交流スペースの創出という項目がある。その一環として公立図書館の整備を検討すべきでは。

町長

新たな交流スペースの創出の一環として、また複合施設として機能的な図書館を整備することは現実的であると考ええる。今後、町民の皆様に構想づくりに入っていただくところから始めていきたい。

質問

学校図書館への電子図書導入や公立図書館の電子書籍貸出サービスとの連携は。

公立図書館・学校図書館のあり方は

町長

電子図書の導入や貸し出しサービスの連携は即座に対応できるものではない。しかし高齢化が進み、公共交通が発達していない奥出雲町をはじめとする中山間地域には検討すべきものだと考える。



新しく広くなった横田小学校の図書室

町産材の活用は

質問

統合小学校の建設に伴う町産材の利用見込み量は。

町長

仁多地域統合小学校建設における木材の利用について、設計監理業者と協議しながら可能な限り増やしたい。

は、町産材、県産材、国産材を基本とする方針である。利用数量については施工業者、設計監理業者と協議しながら可能な限り増やしたい。